

参加
無料

第27回

国際日本学シンポジウム

「音楽とことば」

2026年7月25日(土)

13:00~17:10(日本時間)

オンライン(zoom)開催

要事前登録

お申し込みは
こちらから



〈申込期限〉7月24日(金)正午

「音楽」と「ことば」は分かれ難く結びついている。

ここ日本において、「音楽」は、どの時代のどのような場で歌い、唱え、語られてきたのか。

またその過程で人々は「ことば」に何を見出してきたのか。

本シンポジウムではこれらの追究を通して、日本文学と日本語学における接点を探りたい。

研究発表

- ◆ 加藤 大鶴 (早稲田大学)
「円珠本『朗詠要抄』を用いたアクセント推定と限界 —— 只博士朗詠譜による検証を通じて ——」
- ◆ 柴 佳世乃 (千葉大学)
「何がどのように唱われたか —— 仏教儀礼と『法華経』 ——」
- ◆ 浅田健太郎 (島根大学)
「二重母音・長音・撥音・促音・拗音はどのように節付されたか —— 室町期から江戸初期の謡本を中心に ——」
- ◆ 山田 昇平 (奈良大学)
「〔歌語〕の清濁 —— キリシタン文献を通して読み癖の流通を探る ——」
- ◆ 竹村明日香 (お茶の水女子大学)
「なぜ契沖は怒ったのか —— 謡伝書との関わりから再考する『倭字古今通例全書』への反駁 ——」

ディスカッション

お問い合わせ

お茶の水女子大学 コンピテンシー育成開発研究所 比較日本学教育研究部門
ccjs@cc.ocha.ac.jp



お茶の水女子大学
Ochanomizu University